

八女中・八女高同窓会関東支部便り

<2019年2月号>

【2019年度学年幹事会】 2019年2月2日(土)開催 於:「喜山倶楽部」

同窓会活動を支えてくださっている学年幹事 56 名が出席、役員や当番幹事と共に今年度の方針を決定した。◎2019 年度予算⇒期中の資金繰りが厳しい為、総会・懇親会会費 1000 円 up を承認。

◎2019 年度行事予定⇒①東京研修(8/6～8/8 予定)、受け入れ大学・企業など紹介お願い。

②東ゆうかり会、5 月より会長交代(内田和宏さん→真田秀範さん)、今年度予定 5/21(土)習志野 CC・10/21(日)取手桜が丘 GC。◎第 90 回総会・懇親会開催要領説明⇒6/15(土)「喜山倶楽部」にて、テーマは本部と同じ「刻をつむぐ」。◎同期会交流活動紹介⇒16 回生 2 泊 3 日「はとバス東京ツアー」50 名。

17 回生「樋口軒」にて 60 名参加、今年は山形へ「さくらんぼ狩り」予定。19 回生玉名温泉一泊旅行、20 数名。21 回生同級生 3 人で「歌の会」結成、来年度総会・懇親会で披露予定。25 回生毎年地元にて忘年会、30 数名。

◎その他⇒①母校創立 110 周年記念事業の報告。関東支部から「サポート基金」へ 3 万円支出、全体として約 1000 万円の寄付が集まり、備品購入や奨学金に充てられた。②2 月 16 日(土)開催「筑後市ふるさと応援団総会」出席依頼。



【東京福岡県人会同窓会役員交流会】 2019年2月2日(土)開催 於:「日本倶楽部」

東京福岡県人会同窓会協力委員会主催で、県内 25 高の同窓会関東支部役員・協力委員 60 名が一堂に会し、同窓会運営の問題点、対応策等について交流した。セミナーの内容は(1)昨年実施のアンケート(各校の同窓会関東支部の現状、問題点等)結果報告。問題点は、総会参加者の高齢化など各校似たような悩みを抱えている事が判った。現状については、総会の参加人数はわが校多い方、会費は各校同程度の金額であったが、年会費徴収の高校や本部からの運営資金支援状況など、わが校と差異がある高校が多い結果報告であった。後日結果報告書入手し本部に送付予定。



(2)パネルディスカッションは『教えて下さい！助けて下さい！同窓会存続の危機』のテーマで行われ、村上代表幹事がパネラーとして活躍してくれました。他校のパネラーからは同窓会運営に非常に参考になる意見が多くあり、今後の参考にしたい。

【筑後市ふるさと応援団総会】 2019年2月16日(土)開催 於:「タマホーム東京本社大会議室」

福岡県東京事務所長他4名の来賓と応援団会長他役員4名、団員80名合計90名の出席のもと、会長のご好意で提供頂いた満杯の会場にて、第4回筑後市ふるさと応援団総会が開催されました。

筑後市長からは、近隣市町村と違い唯一人口増や、出生率1.7と全国平均を上回っている事、タマホームスタジアムも3年目に入るが毎年10万人超えの入場者で賑わい、ふるさと納税も順調である事などの筑後市の現況をご説明頂いた。恒例のアトラクションは、昨年公開の八女市を舞台にした映画『野球部員、演劇の舞台に立つ！』の主題歌や挿入歌、別の映画の劇中歌などを立て続けに



リリースしている“Good Coming”のミニライブ、更に総会に出席されていた田中健さんの飛び入り出演などもあり、大いに盛り上がりました。また地元特産品の抽選会は全員に「当たり」があり、出席の皆様にご満足の見られました。最後に筑後市へのエールと全員での万歳三唱でお開き、大盛会の筑後市ふるさと応援団総会でした。(同窓会関東支部支援行事として掲載)

発行日：平成31年2月18日

発行：八女中・八女高同窓会関東支部 支部長／塚本 享

編集：広報担当／吉武 町子・牛島 暁美 写真提供：塚本 享